

## 相手への気遣い

毎朝、横断歩道のところに立って登校の様子を見届けていると、多くの気づきがあります。「今日は元気がいいなあ。」とか、逆に「今日は元気がないなあ。」とか。挨拶の声や表情、態度からよくわかります。昨年度までは、同じように朝、横断歩道のところに立って、中学生の登校の様子を見届けていましたが、中学生よりも一目瞭然です。素直さの現われだと捉えています。

そんな中でも、子どもたちのある行為がとても印象に残りました。これは、どの分団も共通する行為でした。それは、押しボタンの押し方です。当初は、スムーズに渡れるように、子どもたちが近づいて来たら、私が押しボタンを押していました。しかし、渡り終わった子どもと話している時、他の分団が横断歩道に到着しても押しボタンを押しません。ボタンに手を掛けながらも押さないのです。そこには、遠くに車の存在があったからです。朝、急いでいる車を止めたら悪いという想いが働いているのでしょうか。これまでの指導が生きて、引き継がれる伝統となっているのでしょうか。

横断歩道は歩行者優先であり、運転者には横断歩道手前での減速義務や停止義務があります。義務違反には、反則金、基礎点数減点等の罰則が課せられます。よって、押しボタンも歩行者の権利として堂々と押してよいはずですが。

しかし、遠くにある車で過ぎるのを待ち、車の存在がなくなってから押しボタンを押す姿、運転者のことを優先させた気遣いそのものであり、朝から心が温かくなります。

(実際のところを6年生数名に聞いてみると、真っ先の回答は運転者のこと、車のことを考えての行動というものでした。)

子どもたちにとっては、もはや当たり前前の行動かもしれませんが、学校だよりで記述した『人権の誓い』のレベルアップした行動だと言えます。



## 造形【粘土を使って】part 4 3年生 テーマ『足で立つ生き物』

『4本足で立つ生き物』をテーマに造形を行いました。3年生の特徴は何と言っても早いです。4時間中の2時間目の終わりには、ほぼ全員、全体像が出来上がり、9割完成という状態のものもありました。イメージが次々と湧き出て作業が早いのか、集中力がすごいのかわかりませんが、独創的な作品、同じ題材で作成しながらも個性的な作品に仕上がりました。



## 『ひらひらゆれて』 1年生 図工

3・4時間目の図工の時間、ハンガーにつないで吊るしたビニールひもに、色紙を思いのままの形に切って、ひもにテープで貼っていくという授業でした。6人それぞれが思い思いの形に切り、自分のビニールひもにどんどんと貼っていくことができました。暑い中、涼やかな作品が出来上がりました。

